

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立青少年センター	所管課	社会教育課
所在地	甲府市川田町517	設置年月日 (改築年月日等)	昭和45年12月1日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年センター設置及び管理条例		
設置目的	青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することによりその福祉の増進に資するため。		
主な施設内容 (定員等)	① 宿泊施設、会議室、体育施設を完備し、県内青少年活動の拠点としての役割を果たしている。 ② 自主事業、主催事業を通して、青少年の交流の場を設けるなど、積極的に青少年活動の推進を行っている。”		
主な業務内容	○施設の使用承認等に関する業務 ○施設管理に係る業務 ○青少年健全育成等に関する業務 ○防災等に係る業務 ○管理運営に必要な業務 ○施設及び設備の維持管理業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1)男女共同参画推進センター(ピュア総合) (2)小瀬スポーツ公園 (3)緑が丘スポーツ公園
-------------------	-------------------------------------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	利用者数	288,571	284,877	282,790	
	利用者数合計	288,571	284,877	282,790	
	目標値	288,000	289,000	289,000	289,000
	目標値設定の考え方	引き続き高水準の利用者を維持することとし、前年実績を500人程度上回る人数を目標にした。	引き続き高水準の利用者を維持することとし、前年実績を1000人程度上回る人数を目標にした。	昨年度、目標値を4,000人ほど下回ったが、本年度は、目標を達成すべく、前年度と同様の数値目標とした。	昨年度、目標値を6,200人ほど下回ったが、本年度は、目標を達成すべく、前年度と同様の数値目標とした。
	対19年度比	100.0%	98.7%	98.0%	100.1%
	稼働率	43.4%	46.0%	43.7%	

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (予算)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	23,669,550	23,805,000	22,961,833	23,941,000
	指定管理者委託料	100,708,000	105,025,000	105,025,000	103,986,000
	その他	4,600,124	924,800	2,859,640	3,388,000
	収入合計(A)	128,977,674	129,754,800	130,846,473	131,315,000
支出	人件費	65,239,316	64,689,877	66,587,009	64,416,000
	県への納付金				
	管理運営費	61,290,362	65,064,923	62,174,754	66,899,000
	(うち外部委託費)(B)	19,883,580	22,673,000	18,206,220	21,341,630
	支出合計(C)	126,529,678	129,754,800	128,761,763	131,315,000
収支差額(A-C)		2,447,996	0	2,084,710	0
外部委託比率(B÷C)		15.7%	17.5%	14.1%	16.3%
利用者一人当りの経費		349	369	371	360

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月、実施方法:利用者へのアンケート 回答数:1,644人
-------	--------------------------------------------------

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間	98.4%	0.0%	1.6%	0.0%
②利用料金	98.2%	0.0%	1.8%	0.0%
③申し込み方法	98.7%	0.0%	1.3%	0.0%
④設備・備品の状況	97.7%	0.0%	2.3%	0.0%
⑤催物・事業内容				
⑥職員の接客態度	99.1%	0.0%	0.9%	0.0%
各項目の平均	98.4%	0.0%	1.6%	0.0%

利用者の意見	(1)ホワイトボードのマーカーが薄い。マグネットがほしい。 (2)利用時間は夜10時まで延長してほしい。 (3)貸し出し用具を設置してほしい。
利用者の意見への対応	(1)窓口でマーカー、マグネットを袋に入れ貸し出している。 (2)4~9月までの土曜日については10:00までの利用としているが、現状での利用をお願いする。 (3)基本的に、消耗品的な用具については利用者に持参をお願いしているが、スィミングキャップについては、忘れた人や知らなかった人のための貸出用を用意している。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	○法規に定めのないものについては、安全性をより重視して日常点検・月次点検・定期点検を職員が実施した。	○業務仕様書、業務計画書どおり適正に業務執行されている。
運営業務	○事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	○事業報告書及び現地確認の結果、適正に業務が運営されている。 今後も創意工夫を凝らし、利用者の増加やサービスの向上のために努力されたい。
自主事業	○計画どおり各事業を実施することができた。	○計画どおり適正に実施されている。
利用状況	○会議室の利用についてはインフルエンザの流行により利用団体が減少した。 ○体育施設の利用は近隣の運動会などが甲運小学校の建て替え工事に伴い、小学校運動場の利用が出来なくなった為、体育館や運動場の利用が増加した。(競技会利用)	○インフルエンザの影響があったにもかかわらず、後半の稼働率を大幅に上げるなど、安定的な運営に向けて努力している。
収支状況	○利用人数の減少に伴い、利用料金収入が減少した。 ○事業収入に関しては受益者負担が多い事業を廃止したため収入が減少した。	○施設の利用促進、事業への参加者募集等のため、施設のPRやチラシの配布等により、積極的に利用者増を図る必要がある。
利用者満足度	○利用者アンケートでの要望について館長、副館長、課長による会議を毎月行い、対応を検討し、出来るものについては早急に実施した。	○利用者アンケートについては、定期報告により、毎月報告されている。青少年センターでは、アンケートをもとに、毎月検討会議を開き、施設設備や業務の改善を図っている。県民ニーズの把握に努め、管理運営に反映させるよう指導した。
運営目標の達成状況	施設利用者については、新型インフルエンザの影響で、宿泊施設等を中心に減少したため目標値を下回ったが、体育館をはじめとする体育施設は目標を上回り、運営目標全体では概ね達成できたと評価できる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	基本協定書や業務計画書に基づき、適正に管理運営されており、自主的な事業を実施するなど、利用者拡大に努めている。 施設の老朽化が進んでいるので、利用者が安全快適に利用できるように、施設設備の不具合が無いように迅速に対応すること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	昨年度は、新型インフルエンザの影響等もあり、施設全体の利用者が減少した。平成22年度については、利用者に魅力のある自主事業、主催事業を企画し、更なる利用者拡大に努めている。 施設、設備については、日常の点検を一層強化し、修繕が必要なものについては、順次修繕し、利用者の安全を最優先に考えていく。	

7. 管理体制(組織図)

